

Salesforce連携方法の選び方

社内システムとデータ連携をするためのツールとは

パナソニック デジタル株式会社
鮎川 拓矢



Salesforce活用時に生じるデータ連携への背景について理解を深め、
弊社がおすすめするノーコードでの構築方法をお伝えします。

01



Salesforceとのデータ連携が必要とされる背景

02



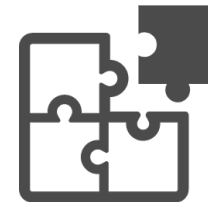
Salesforceとのデータ連携

03



データ連携ツールを用いた
Salesforceとの連携方法と機能

04



弊社のお役立ち

はじめに



鮎川 拓矢

Ayukawa Takuya

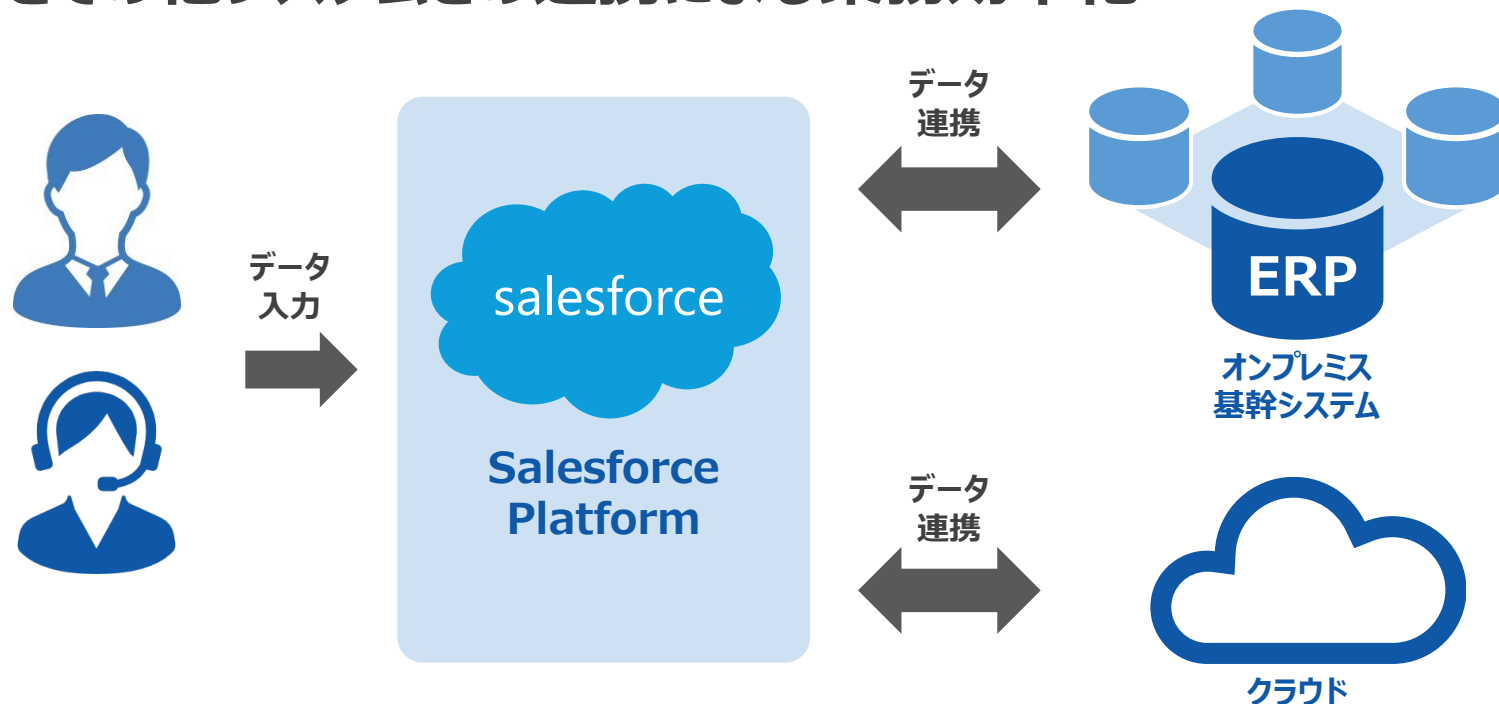
パナソニック デジタル株式会社
営業推進統括部

- 民間企業様向けセールス
- 経歴
 - 2018年：パナソニック エレクトリックワークス(株)
(旧:松下電工)
 - 2023年：パナソニック デジタル(株)
- 大切にしていること
 - #プライドをもつ
- 趣味
 - #ハンドボール、旅行、アニメ鑑賞

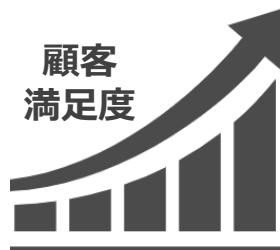


1. Salesforceとのデータ連携における課題

『Salesforce』とその他システムとの連携による業務効率化



基幹システムとの連携により得られるメリット



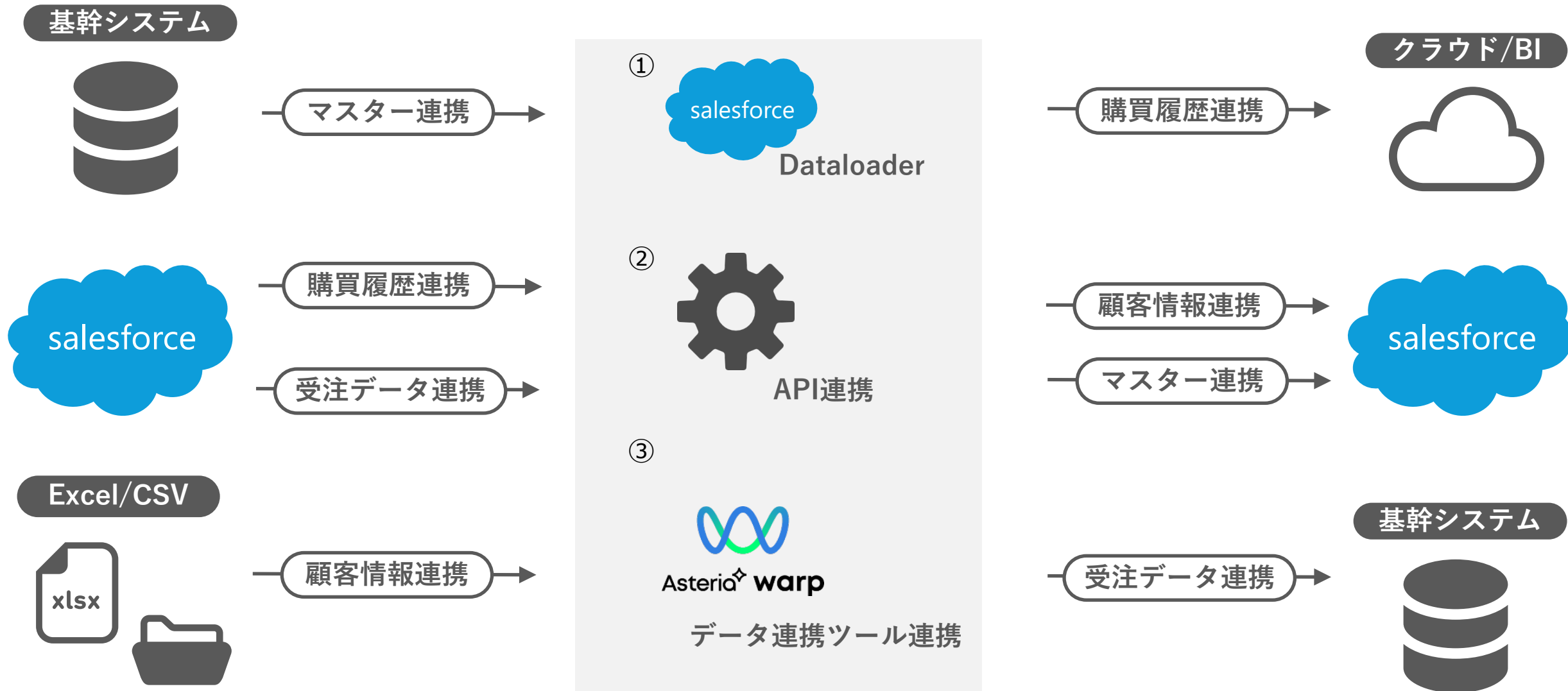
基幹システムとの連携による
顧客満足度の向上






手作業の自動化による
オペレーション工数の削減



2. Salesforceとのデータ連携手段



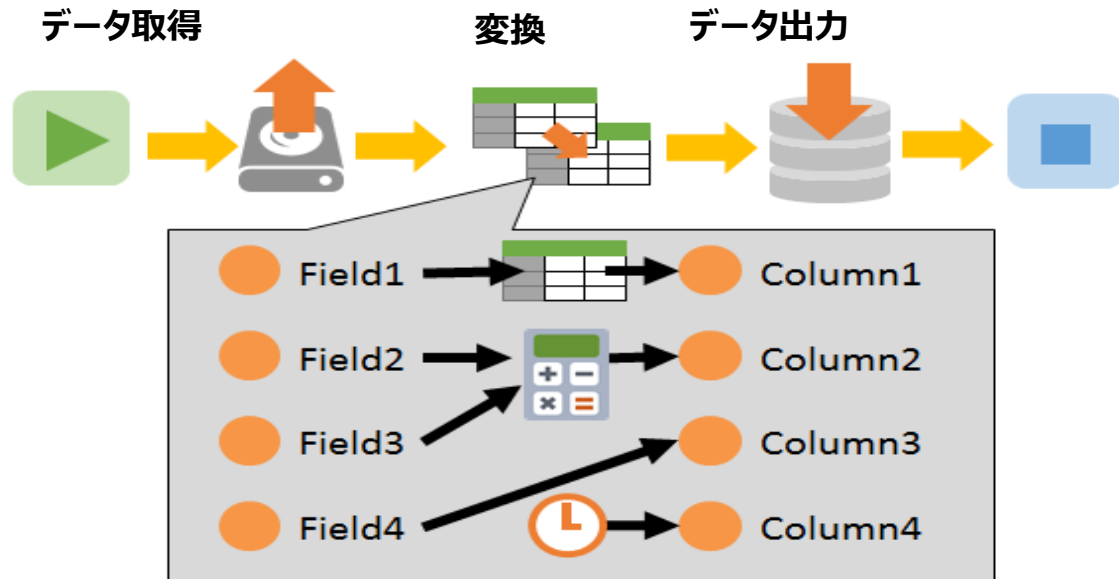
	① Dataloader	② Web API開発	③ データ連携ツール
			
■コスト	○	▲	▲
■機能	×	○	○
■難易度	○	×	○
■保守性	▲	▲	○
■開発生産性	○	×	○
■拡張性	▲	▲	○
■エラー処理	×	▲	○

3. データ連携ツールを用いたSalesforceとの 連携方法と機能

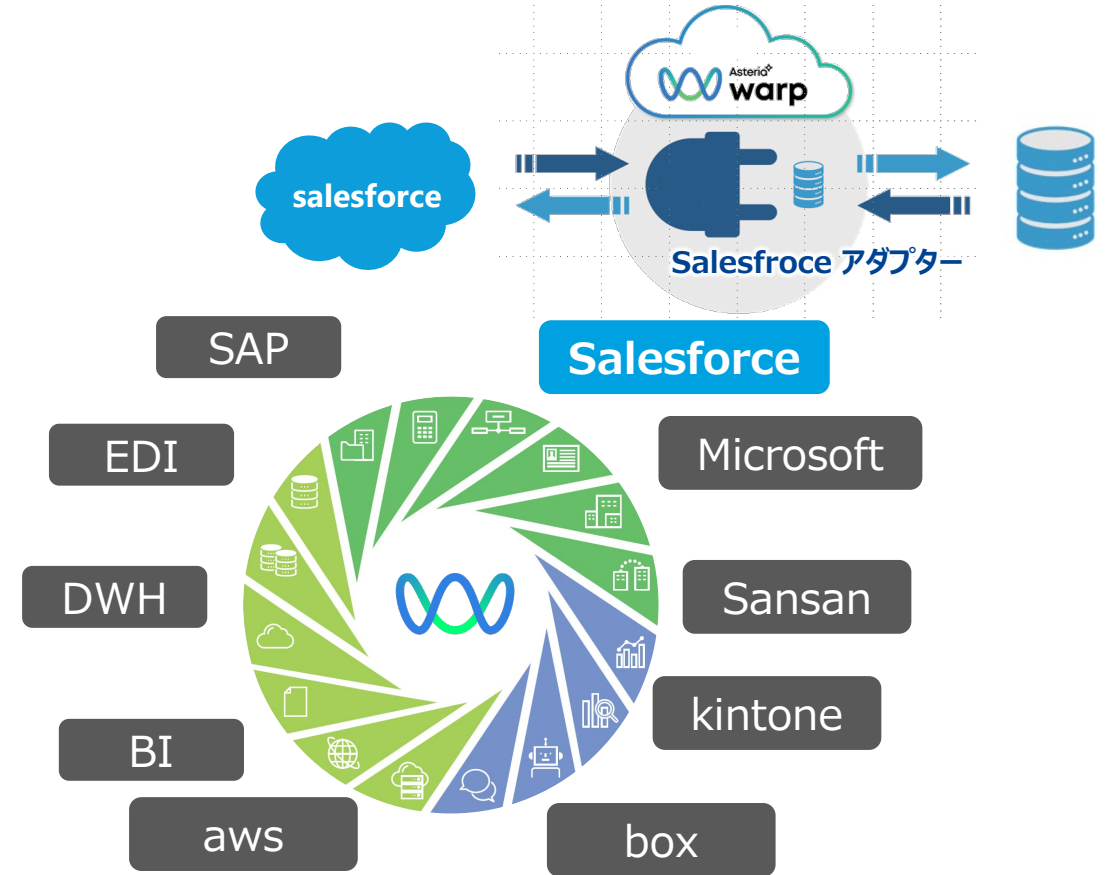
ASTERIA Warp とは

ノーコードで設計開発を行うことで、様々なシステムやサービスと連携し、業務の効率化やデータの活用を実現するデータ連携ツール。データ連携市場において**17年連続シェアNo.1**。

アイコンを並べてノーコードで
データ連携を定義



シンプルな操作で**超高速開発**



100以上のサービスやシステムと迅速に連携



Salesforce APIの癖を吸収、ノーコードでリトライ制御など実用的機能を集約



1 SalesforceAPIの技術知識不要

2 簡単3ステップ・テスト実行も簡単

1. 対象となるオブジェクトを選択し
2. 項目を選択すると
3. SOQLが自動生成される

Account | AccountContactRole

選択	作成可	列名	表示名	参照先
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	ShippingCountry	国(納入先)	
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	ShippingLatitude	緯度(納入先)	
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	ShippingLongitude	経度(納入先)	
<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	Phone	取引先 電話	

Salesforceの日本語表示名を確認

用途に応じたリアル・バッチ連携を使い分け Salesforceアダプター機能一覧

[リアルタイム連携]

- 参照 (SOAP, REST)
- 登録 (SOAP, REST)
- 削除 (SOAP, REST)
- 更新 (SOAP, REST)
- ログイン (SOAP, REST)
- ログアウト (SOAP, REST)
- 登録/更新 (SOAP, REST)
- 外部IDで参照 (SOAP)
- メール送信 (SOAP)
- API 任意の実行 (SOAP)

[バッチ連携]

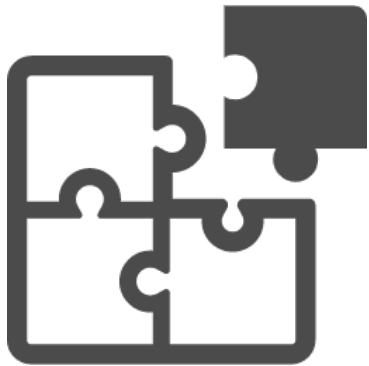
- 大量データの登録/更新/削除 (Bulk)
- 登録結果 (Bulk)
- 大量データの参照 (Bulk)
- 結果取得 (Bulk)

データ連携フロー構築のデモンストレーションをご覧ください。

デモ① : CSVデータ ⇒ Salesforce

デモ② : Salesforce ⇒ CSVデータ

特長1



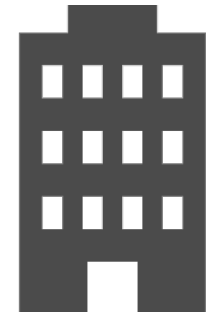
GUIベースの開発により
**ノーコードでデータ連携
実行状況を一元管理**

特長2



基幹システムのマスターデータなど
大量データ連携が容易

特長3



Salesforce連携
200社以上の利用実績
※弊社開発アダプター

4. 弊社のお役立ち（導入事例）

開発・運用工数7割超を削減、ブラックボックス化抑止にも大きな効果

Salesforce連携

BI連携

ERP連携

導入前の課題

基幹システムの再構築に伴い、システム間連携が必要に。
Salesforce、国産ERP、タイムレコーダーを組み合わせる構成にしたため、システム間を連携する**EAIの導入が急務**となった。

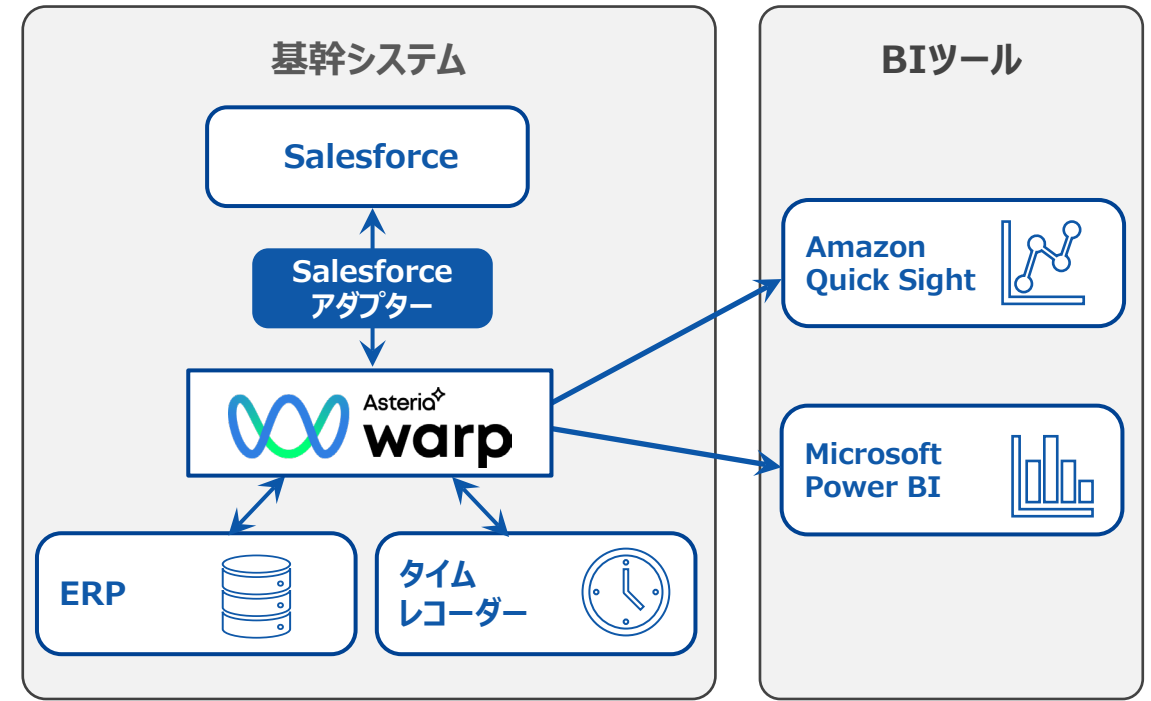
ASTERIA Warp + Salesforceアダプター 導入

Bulk APIに対応  point

ソリューション導入による効果

- ・スクラッチ開発に比べると**開発・運用工数7割超の削減**になった。
- ・『Amazon QuickSight』や『Microsoft Power BI』などのBIツールへの連携を効率的に実現し、**スピーディな経営判断の一助に**。

システム連携イメージ



開発期間・工数が半減、運用面における社内外の利便性も向上。

Webサイト連携

Salesforce連携

BI連携

ERP連携

導入前の課題

- ・お客様からの発注はFAXが中心。**紙の管理や注文内容の確認、案件管理**などに工数がかかっていた。
- ・SAPと他システムを連携する場合、**都度プログラム開発が必要**で、膨大な時間とコストがかかっていた。

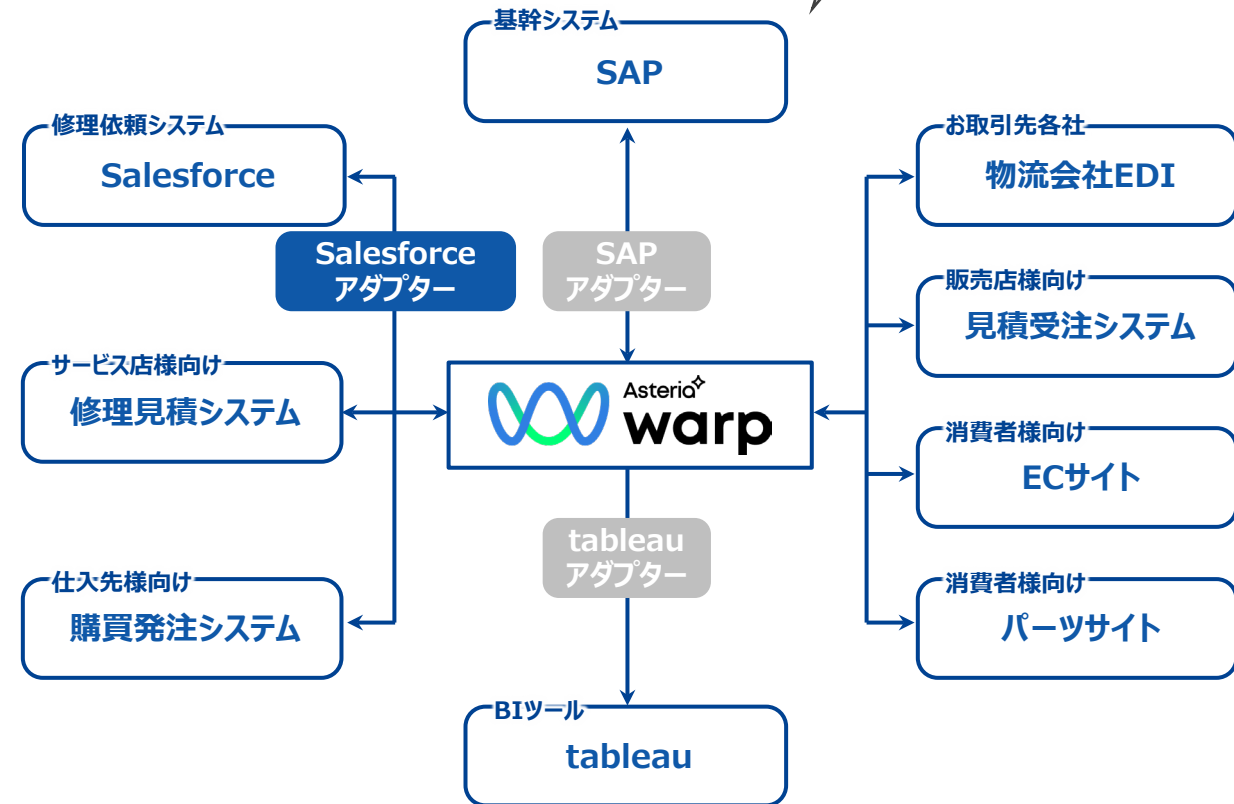
ASTERIA Warp + Salesforceアダプター 導入

連携アダプタが豊富。分かりやすいUI  point

ソリューション導入による効果

- ・販売店様向けサイトからの受注内容が、**自動で基幹システムに連携**。
- ・修理依頼システムをSalesforceで構築し、パーツサイトとデータ連携することで、**案件管理と報告書の蓄積も容易**に。
- ・SAP側の操作がほぼなく、**開発期間と工数が半分以下**に。

システム連携イメージ



5. 個別相談会を希望されますか



希望する

希望しない



システム連携 オンライン個別相談会

- クラウドサービスと連携を検討したい
- システム連携が複雑で整理したい
- 内製化するための支援がほしい

個別のお悩みにお応えします

このあと
表示されます

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

アンケートにご協力ください

必須 1.会社名

必須 2.お名前

必須 3.セミナー資料を希望されますか

希望する

希望しない

必須 4.個別相談会

ご視聴ありがとうございました
アンケートへのご協力をお
願いいたします



Panasonic